

津屋崎千軒懷かし博物館

マップは現在のものです。
写真はおおよそですが、昭和二〇年と昭和四〇年頃のもです

懐かしい写真が撮れる場所
(徐々に発見していきます。)

庚申塔の場所



■庚申信仰と庚申塔（こうしんとう）についてのお話

六十日毎に廻ってくる庚申の日の夜に体の中にある三尸(さんし)という虫が寝ている間に抜け出して天の神様(帝釈天)にその人の罪を告げることで、生命を奪われるという庚申信仰というものが室町時代から始まりました。

庚申の夜には、天の神様に三戸の虫から罪を告げられないようにと、まぢの人達は夜通し起きて、家族や近所の人達と普段は出来ない長話などをしながら過ごしたそうです。また、悪病や害虫が村に入つてこないようにと村の入口に庚申塔を建て、これが村落界の標識になったそうです。

津屋崎千軒にはいまでも庚申塔があらちここにあります。ぜひ立ち寄つて当時に思いを馳せてみましょう。

藍の家は築百年程の
素敵な場所だよ。
お土産もあるから
立ち寄ってみよう。

営業時間は十時～午後四時
(盆・正月休)

教安寺

津屋崎千軒民俗館

豐村酒造

昔はこの狭い路地を
バスが走ってたんだって！
時には軒にぶつかりなが
走っていたそうです。

—

現在の津屋崎海水浴場より西側のこの辺りがかつて海水浴場として賑わっていました。

千軒通りを
奥へ歩くと
古い町並みが
姿を現します

ここがかつての馬鉄の津屋崎駅でした。今は跡形もありません。馬をつなぐ馬つなぎ松が6本あったそうです。見たかったな。

津屋崎千軒 海とまちなみの会 作成（第一版）二〇〇七年（平成十九年）七月
これから少しずつ地図を充実させていきます。

福津市役所
津屋崎支所

文化会館

津屋崎駅跡
(三月末廃止)

北

0米 100米

(2) 070720

内海
(津屋崎干潟)

東郷神社方面

津屋崎漁港

お魚センター

渡のいけす場跡方面

渡(わたり)のいけす場。明治40年代に栄えた

昭和初期の船大工達

らむかな 海岸風景(S20~S30)

海岸でのイベント(S20～S30)

海岸の賑わい(S20~S30)